

新型コロナワクチンの効果等に関するデータについて

令和4年1月7日
長野県健康福祉部

【概要】

2021年7月1日～2021年9月30日（県内第5波）に、新型コロナウイルス感染者として長野県内の保健所に発生届が提出された計3701例について、2021年12月10日時点の情報を基に分析した
（長野市・松本市分を含む）

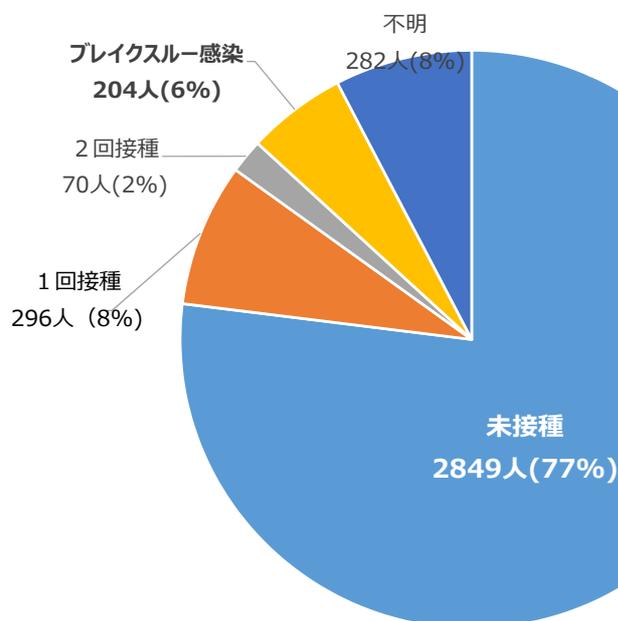
1

第5波陽性者のワクチン接種状況

N = 3701

◆ 陽性者の77%がワクチン未接種、6%がブレイクスルー感染であった

ワクチン接種歴別の陽性者数



【用語の定義】

1回接種：ワクチン1回のみ接種後に陽性となった者
2回接種：ワクチン2回接種後14日未満に陽性となった者

ブレイクスルー感染：
ワクチン2回目接種14日以降に陽性となった者

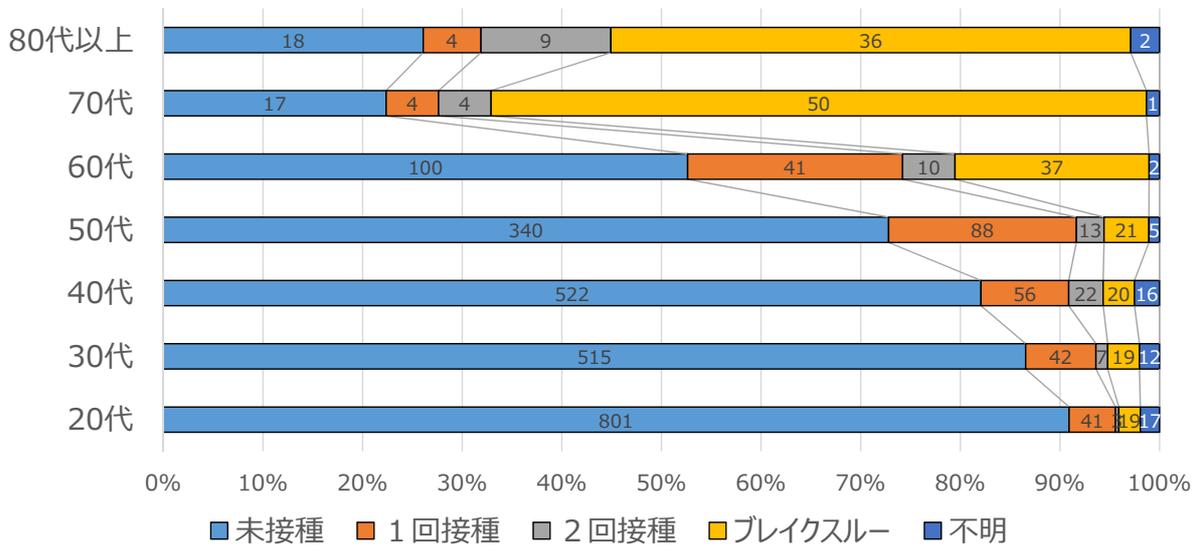
2

第5波陽性者の接種状況（年代別）

N=3701

- ◆ 60代以上でブレイクスルー感染の割合が増加し、70代以上では5割以上を占めている

年代別陽性者の接種状況（人）



3

重症化リスクのない陽性者の重症度経過

N = 2417

- ◆ 重症化リスクのない陽性者と比較すると、未接種の陽性者は届け出時に無症状・軽症であっても中等症へと重症化する割合が高い。

ワクチン接種歴	当初症状	療養中の最も重い重症度			計
		無症状 軽症	中等症	重症	
未接種	無症状 軽症	1718 (93%)	130 (7%)	0	1848
ブレイクスルー 感染	無症状 軽症	88 (96.7%)	3 (3.3%)	0	91

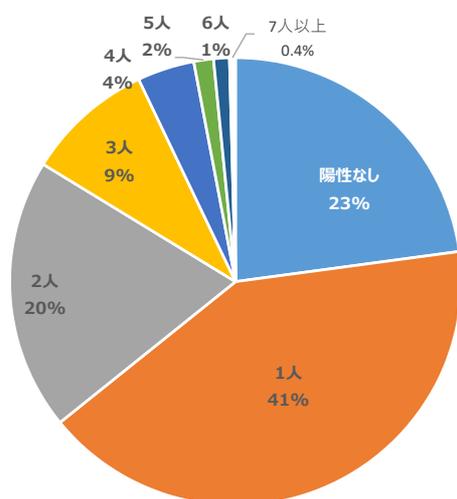
4

濃厚接触者が陽性となった割合

◆ ブレイクスルー感染者に比較してワクチン未接種陽性の方が、陽性となった濃厚接触者の人数が多い

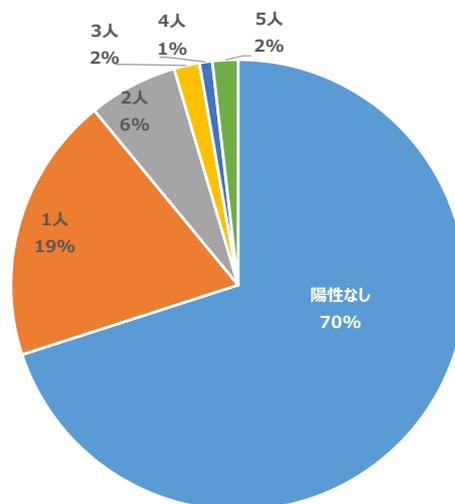
陽性者1人あたり濃厚接触者のうち陽性となった者の人数

ワクチン未接種陽性者



陽性者1人あたりの濃厚接触者のうち陽性となった者の人数 平均 1.4人

ブレイクスルー感染



平均0.4人

まとめ

長野県の第5波における新型コロナウイルス感染症の陽性者について、ワクチン接種の効果について分析を行った結果は以下のとおり。

1. 陽性者の77%がワクチン未接種、6%がブレイクスルー感染であった
2. 60歳以上でブレイクスルー感染者の割合が多い傾向がみられた
3. ブレイクスルー感染者は、未接種陽性者と比較して、届出時に無症状・軽症である者が、のちに重症化する割合が低かった。
4. ブレイクスルー感染者は、ワクチン未接種陽性者と比較して、その濃厚接触者が陽性となる人数が少なかった

以上より、ワクチン接種により重症化が抑制され、また周囲への感染も抑えられていた可能性が示唆される。